

松山議員

エコミュージアムについて

**問①**「持続可能な活動となるためのビジネス化」「市民への視野の拡大」の課題解決に向けてどのような施策を進めていくのか。  
**②**エコミュージアム活動を一層推進していくためのコア施設の整備を中心とするエコミュージアムの構成要素の整備方針を整理すべき。  
**③**勝山ふるさと検定を合格された方などを対象とした、市民学芸員と勝山案内人制度を設けるべき。

市民活動について

**問①**市民活動の活性化のために団体間の連携強化など、市民の参加と協働のまちづくりを進めて行くために市民活動センターの役割を市としてどのように考えているのか。  
**②**市民活動を行う団体等の活動を総合的に支援するNPO法人市民活動サポート組織を創設すべき。

その他の質問  
 ・福祉について  
 ・障害者虐待防止法について  
 ・成年後見制度について  
 ・「かつやま・あじな便り」について

**答①**これからのエコミュージアム事業の課題は、どのようにして市民主体の活動にしていくかにある。行政は自主的な動きを常に見守りながら、関与を小さくしていき、必要なときには手を貸す、このことが次の事業の重要なテーマになると考えている。  
**②**今後、複合施設化を予定している現在の地場産センター内に整備する市民活動センターは、エコミュージアムのコアミュージアムとして有力な候補となると考えている。  
**③**市民学芸員制度については、本年度のエコミュージアム協議会事業の中で取り組みを予定している。

**答①**様々な社会貢献活動団体への支援を図ることはもとより、市民一人ひとりの自発的な社会貢献活動を支援することで、市民と行政とが協働のまちづくりに向けた中核施設としても位置付けるなど、その機能を強化していく。  
**②**市民活動サポート組織が市と市民団体を、また市民団体と市民団体をコラボレーションすることで勝山市のまちづくりをコーディネートしていく。市民活動センターまつり



市民活動センターまつり

山内議員

道の駅について

**問①**9月定例会において「道の駅」構想を打ち出されたが、全国の「道の駅」のほとんどが赤字運営で、県内でもかろうじて黒字になっているのは坂井市の「道の駅みく」のみと聞いている。民間活力の発揮、地場産品の開発など課題はあるが、「道の駅」を設置するのであれば、魅力ある計画を策定すべきでないか。

その他の質問  
 ・長尾山第2期事業について  
 ・中学校の統廃合について

**答**平成25年度早々に「(仮称)勝山市「道の駅」建設基本構想策定委員会」を立ち上げ、地域の産業力向上につながる持続可能な運営スキーム、具体的な建設場所などを検討して平成25年夏を目途に「(仮称)勝山市「道の駅」基本構想(案)」を取りまとめ、平成28年度中の供用開始を目標に進めていく。

交通体系の抜本的見直しについて

**問**市内どこに住んでいても不便を感じないバス体系にすべき。通勤・通学や通院等で利用が多い朝夕のバスは必要だが、日中はデマンド交通システム方式にする必要があると考える。市の考えを伺う。ま

た交通弱者については、現在の料金体系で良いが、一般の方については、応分の負担をいただくことが当然でないかと考えるが、市の考えを伺う。  
**答**運行を比較的自由に設定できるフルデマンドシステムについては、昨年度から研究を進めているが、先進地視察の中で、登録した人しか利用できないこと、タクシーを利用したシステムの場合、一人でも利用する割合が高いことなど、いくつかの課題が見えてきた。これらの課題を整理し、勝山市にふさわしい新しい交通体系の構築に向けて、意見をまとめていきたいと考えている。  
 また学生や高齢者を除く利用者の運賃増額については、現在の料金体系が定着しているため、今後の新しい交通体系を構築するうえでの検討課題とさせていただきます。



市内バス